

2022.03

ヘルメット取付資料

B+COM

ONE

×



Kabuto

RYUKI



取り付け前の準備

1 | 取付準備



OGK KABUTO ヘルメット [RYUKI] の
B+COM 取り付け方法をご紹介します。

2 | B+COM 準備



B+COM を 1 キット分用意します。
※ベースプレートの組立方法については、
巻末の「ベースプレートの組み立て」を
ご覧ください。

3 | スピーカー準備



スピーカーの裏面に面ファスナーが
貼り付けられていることを確認します。

4 | パッド取り外し



ヘルメットのチークパッド、イヤークップを
取り外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取り
扱い説明書をご参照ください。

スピーカーの取り付け

5 | 面ファスナー貼り付け



イヤールール部に取り付けられている面ファスナーでも装着は可能ですが、固定力が不足する場合は、「スピーカー固定用面ファスナー」の使用をおすすめします。

6 | 面ファスナー貼り付け 2



耳とスピーカーとの隙間が生じやすいため、「スピーカー調整パッド」を1枚貼り付けることをおすすめします。

※個人差があるため、必ず調整してください。

7 | スピーカー取り付け



「スピーカー」を取り付けます。イヤールールにそのまま合わせるのではなく、できる限りヘルメット前方、チンストラップの根本側へ寄せるのがコツです。

8 | スピーカー取り付け 2



イヤールールにそのまま貼り付けると、耳穴とスピーカーの位置が合わず、「音が小さい」といった現象が発生する可能性があります。ご注意ください。

9 | スピーカー配線



ヘルメット後方右側のスナップを外し、配線をスナップの内側に通します。

10 | スピーカー配線 2



内装の裏側に配線を通します。

11 | スピーカー配線 3



左側も同様に配線を通します。
その後、右側にもスピーカーを取り付けます。

マイクの取り付け

12 | ワイヤーマイク取り付け



左側チークパッドの丸印部分に、ワイヤーマイクの集音部を仕込みます。

13 | ワイヤーマイク取り付け 2



チークパッドの隙間にマイクを通します。

14 | ワイヤーマイク取り付け 3



通し終わると、写真の状態になります。

※マイクの裏表に注意してください。
穴の空いている方が、集音する方向です。

15 | チークパッド取り付け



チークパッドを戻します。
このとき、スピーカーの配線が外に出る
ようにします。

16 | チークパッド取り付け 2



ワイヤーマイクのコネクタ部分を、
ヘルメットの外側へ出しておきます。

ベースプレートの取り付け

17 | ベース取付準備



帽体の左側面に、「ベース用面ファスナー」を貼り付けます。

18 | ベースプレート貼り付け



面ファスナーを使用して、ベースプレートを貼り付けます。

本体ユニットの取り付け

19 | 本体ユニット取り付け



本体ユニットを取り付け、ワイヤーマイクやスピーカーのコネクタを接続します。

20 | 本体ユニット取り付け 2



スピーカーコネクタは、ヘルメット後方のすき間から取り出す方法がおすすめです。

21 | 完成



以上で完成です。

●付録：ワイヤーマイクホルダー取り付け手順

1 | ワイヤーマイクホルダー



ワイヤーマイクホルダーを使用した取り付け手順をご紹介します。

[品番:00082120 価格:2,420円(税込)]

2 | マイクホルダー組み立て



「ホルダーベースA」を使用して、ワイヤーマイクホルダーを組み立てます。

組立手順は、取扱説明書をご参照ください。

3 | ホルダーベース貼り付け



ウィンドシャッターを外し、口元の高さとチンカバー開閉時の影響を確認してから取り付け位置を決め、ホルダーベースの両面テープを剥がして貼付けします。

※必ず貼付け箇所を脱脂してください。

4 | チークパッド取り付け



左側チークパッドを戻します。

※ウィンドシャッター装着時はチンカバー開閉時にウィンドシャッターとホルダーが干渉します。マイクホルダーベースが完全に接着硬化したことを確認してからご使用下さい。

5 | 本体ユニット取り付け



マイクコネクタと本体ユニットを装着し、ベースプレートへ取り付けます。

6 | 配線収納



余った配線は、内装の隙間へ収納します。

7 | 完成



以上で完成です。